

平成29年8月31日

平成29年度公表情報

学校法人みどり学園
理事長 平尾 達夫

1. 教育研究上の基礎的な情報

(1) 学部、学科、課程、研究科、専攻ごとの名称及び教育研究上の目的

大阪健康福祉短期大学が設置する学科の名称及び教育研究上の目的は以下のとおりです。

① 介護福祉学科

高齢者や障害を持つ人々の生活を理解し、学生により良い介護ケアを行う力を身につけさせるために、「介護」を学びの中心にして、それを支える「人間と社会」「こころとからだのしくみ」という3つの領域を学習します。

実習施設と大学の結びつきを密にして、現場の実践に学び、それを理論化することを重要な研究課題としています。

② 子ども福祉学科

学ぶ内容は、基礎分野としての「教養科目」と、保育士、幼稚園教諭に必要な「専門教育科目」の2種類があります。未来を担う子どもたちの心と身体を育てるために、専門性が身につくカリキュラムを用意しています。保育所・幼稚園に加えて、居住型の児童福祉施設、障害児通園施設、児童館、学童保育など、さまざまな施設で実習が受けられます。

実習と講義は密接に結びつき、講義の学びを実習に、実習の学びを講義に発展・応用させて、豊かな実践力を身につけます。

(2) 専任教員数

本学の専任教員数は、次の表のとおりです。

(2017年5月1日現在)

学科等名	専任教員数					設置基準で定める教員数		助手	[ハ]	備考
	教授	准教授	講師	助教	計	[イ]	[ロ]			
介護福祉学科	3	2	2	0	7	7(3)	—	0	0	社会学・社会福祉学関係
子ども福祉学科	3	1	5	0	9	8(3)	—	0	0	教育学・保育学関係
(小計)	6	3	7	0	16	15(6)	—	0	0	
[ロ]	1	0	2	0	3		3(1)	0	0	
(合計)	7	3	9	0	19	15(6)	3(1)	0	0	

注 1. [イ] は、短期大学設置基準（以下「設置基準」という。）第 22 条別表第 1 のイに定める学科の種類に応じて定める専任教員数である。

注 2. [ロ] は、設置基準第 22 条別表第 1 のロに定める短期大学全体の入学定員に応じて定める教員数である。

注 3. [イ] 及び [ロ] の欄の（ ）には、短期大学設置基準第 22 条別表第 1 のイの備考第 1 号に定める教授数である。

注 4. 助手とは、助手として発令されている教職員をいう。

注 5. [ハ] とは、助手以外の者で短期大学全体もしくは学科等の教育研究活動に直接従事する教職員（事務職員を除く）をいう。（例えば、副手、補助職員、技術職員等）

(3) 校地・校舎等の施設その他学生の教育機関

校地・校舎等の施設概要は、以下のとおりです。

① 堺東学舎（大学本部・子ども福祉学科）

堺市堺区南花田口町 2 丁 3-20 三共堺東ビル（南海高野線「堺東駅」から徒歩 1 分）

校舎面積 1866.6 m²

② 堺市駅前学舎（介護福祉学科）

堺市堺区東雲西町 1 丁 2-7 出原ビル（JR 阪和線「堺市駅」から徒歩 1 分）

校舎面積 697.0 m²

③ 鳳学舎

i) 実習室関係 堺市西区鳳南町 5 丁 595 番地 鳳クリニック 3 階

校舎面積 1167.2 m²

ii) 図書館本館等 堺市西区鳳南町 5 丁 598 番地

校舎面積 288.1 m²

（いずれも、JR 阪和線「鳳駅」から徒歩 10 分）

④ リバティプラザ（屋内運動場）

堺市堺区翁橋町 1 丁 99 ホテルリバティプラザ地下 1 階

屋内運動場等 1336.5 m²

(4) 授業料、入学料その他の大学が徴収する費用

学科名	入学金 (初年度のみ)	授業料	施設設備 費	実習費	行事費等	合計
介護福祉学 科	20 万円	75 万円 (年額)	20 万円 (年額)	10 万円 (年額)	5 万円 (年額)	130 万円
子ども 福祉学科	20 万円	75 万円 (年額)	20 万円 (年額)	10 万円 (年額)	5 万円 (年額)	130 万円

2. 修学上の情報等

(1) 教員組織、各教員が有する学位及び業績

教員組織は、次の表のとおりです。

役 職	氏 名	担当科目
学 長	眞鍋 穰 (教授)	こころとからだのしくみ (総論)
介護福祉学科学科長	小田 史 (教授)	生活支援技術
介護福祉学科教務主任	永原 直子 (准教授)	発達心理学
子ども福祉学科学科長	野村 朋 (教授)	乳児保育
子ども福祉学科教務主任	代田 盛一郎 (准教授)	子どもと遊び

(2) 入学者に対する受入方針、入学者数、収容定員、在学者数、卒業（修了）者数、進学者数、就職者数

大阪健康福祉短期大学のアドミッション・ポリシー（本学の受け入れ方針）、入学者数等はこのとおりです。

1 アドミッション・ポリシー（本学の受け入れ方針）

【介護福祉学科】

本学科は、介護や社会福祉に関する学問を修め、介護福祉士国家資格の取得を目指す学科です。それらを鑑み、以下にアドミッション・ポリシーを示します。

1. 「介護」や「福祉」について自ら考えようとする人
2. 社会の成り立ちや自らの生活について、興味をもっている人
3. 自ら進んで学ぶ意欲がある人
4. 人間に興味をもっていて、他者とかがわることができる人
5. 日常生活において他者に情報伝達したり、他者からの情報を受け取る能力を有している人

高校の授業や課外(クラブ)活動等の中で、自分なりに意欲・関心がもてるものに取り組み、アドミッション・ポリシーで掲げている各学力を身につけてきた学生を求めています。また、入学後も同様に、自ら意欲・関心がもてるものを見つけ、さらに学力を伸ばそうとする学生を求めています。

入学選抜においては面接を重視し、対話を通じて、アドミッション・ポリシーで示している各学力の評価を行います。また、受験の形態に応じて、面接とともに小論文や現代国語の試験も実施し、多角的に評価を行います。その中で、受験者自身のこれまでの体験や、そこから得られた学びの有無、自らの考えの在り方を評価します。なお、本学入学にあたっては、事前に、インタビューを通じて高齢者や障がい者の暮らしを学ぶことを求めています。

【子ども福祉学科】

本学科では、保育士資格・幼稚園教諭二級免許状の取得を目指します。本学の教育理念を理

解し、学修を通して以下の目標を達成しようとする意欲のある学生を求めています。

1. 子どもが好き、人間が好きで、いろいろな人とかかわりたい
2. 誰かのために、自分を生かしたい。あてにされる自分を発見したい
3. 人間のくらしや社会に関心があり、さらに理解を深めたい
4. いろいろな人と力を合わせて、子どもと一緒に自分も成長したい

上記の目標に向かい、入学前の自分の生活や経験について振り返り、他者にそのことを伝える努力ができる学生を求めています。また、入学予定者には入学前教育に参加し、学修の準備を行うことを求めます。さらに入学後には、目標達成のための努力を惜しまない学生を求めます。

入学選抜においては、自分の経験を振り返り、そこでの学びを伝える力について面接を中心に評価を行います。受験形態によっては小論文・現代国語も実施し、多様な学生の受け入れを目指します。

2 入学者数、収容定員、在学者数、卒業者数、進学者数、就職者数

2016年度の実績は次の表のとおりです。(「学校基本調査」入学者数・在学者数は2017年5月1日現在)

学科名	詳細区分	2016年度
介護福祉学科	入学者数	7
	収容定員	80
	在学者数	24
	卒業者数	17
	進学者数	0
	就職者数	14
子ども福祉学科	入学者数	43
	収容定員	160
	在学者数	105
	卒業者数	71
	進学者数	0
	就職者数	65

(3) 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業計画(シラバス又は年間授業計画の概要)別項「講義概要」のとおりです。

(4) 学修の成果に係わる評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準(必修・選択・自由科目別の必要単位修得数及び取得可能学位)

別項「授業科目履修規程」のとおりです。

(5) 学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援

① 修学に係る支援

学生の修学については、次のような体制を組んで、一人の学生を二重にサポートしています。

1) クラス制を取り、それぞれのクラスにアドバイザーを配置して、学習面と生活面の指導をしています。

2) さらに 15～20 人前後の少人数編成でゼミを編成して、ゼミ指導教員を配置して、学生のサポートにあたっています。

このようにアドバイザーとゼミ指導教員が情報交換しながら、一人ひとりの学生の状況を的確に把握し指導しています。

② 進路選択に係る支援

進路選択については、キャリア支援センターを設置し、進路指導担当職員が情報の収集、進学・就職に関する指導や支援を行っています。また、ゼミ指導教員も個別指導に当たっています。就職に関しては求人件数が多く、ほとんどの学生が卒業までに就職を決めています。進学に関しては、多数の 4 年制大学から指定校の枠を与えられているので、3 年次編入試験を受験して進学できます。

③ 健康管理に係る支援

本学の各学科は実習が必修科目なので、実習に向けて全員が集団検診を受けて、健康管理には万全を期しています。また、「はしか」についての受診調査は全員対象に行い、インフルエンザ等の流行に対しては大学独自の対策を立てて、集団感染の防止に努めています。

④ 学生相談について

学生の相談については、学生支援室を設け、カウンセラーを配置し、いつでも相談に応じられる体制をとっています。また、学生が気軽に利用できるように、企画イベント『性格診断チェック』なども実施しています。

(6) 教育上の目的に応じた学生が修得すべき知識及び能力に関する情報

別項「学科紹介」のとおりです。